

5月12日（月）新国立劇場「オペラパレス」バックステージ見学会

日 時：令和7年5月12日（月）

場 所：新国立劇場（初台）

ご案内：新国立劇場 立田雄士様、島野真実様

アテンド：丸茂電機株式会社 佐伯隆夫様、浅川久志様、吉田大二様

参加者：「日本のあかりの歴史と文化研究調査委員会」大谷義彦委員長、太田陽貴、冬野朋子、原田武敏、杉岡賢一、高橋好正、花柳寿寛福、齋藤信一、落合勉、宮尾慎一、「国立科学博物館」前島正裕産業技術史資料情報センター長、亀井修、内尾優子

見学スケジュール：10：25 B1F 楽屋口で受付

10：30～事前説明（技術部会議室）

11：00～オペラパレス見学

14：00～オペラ「蝶々夫人」ゲネプロ（最終舞台稽古）見学

今回の見学会は、国立科学博物館における「舞台照明装置の系統化調査」報告を執筆していただいた丸茂電機顧問の佐伯隆夫様のご提案により、舞台照明装置に関心ある方々に実際の舞台照明装置を見学する機会を設けていただいたものです。

最初に同劇場の会議室においてオペラパレス劇場概要、舞台照明設備及びオペラ公演ができるまでの説明を受けた。その後、劇場のバックヤード、奈落、オペラ蝶々夫人の舞台セットがセッティングされた主舞台、両袖舞台、奥舞台、調光操作室、ホワイエや中劇場等をご案内いただきました。その後昼休憩をはさみ、なんとオペラ「蝶々夫人」のゲネプロを最初から最後まで見学させていただきました。

失敗が許されない緊張感のある舞台、その一瞬一瞬のシーンを秒単位で何時間にもわたり演出する照明。歌手、オーケストラ、指揮者、芸術監督、演出家、照明家、照明技術者が協働して、芸術と技術が一体となって一つの舞台が出来上がっていることにとても強い印象を受けました。さらにその舞台を数十年後も再現できるように工夫された照明用の譜面にも感銘を受けました。

このような機会を設けていただきました佐伯様をはじめとする丸茂電機の方々及び長時間にわたり丁寧に説明をしていただき、このような特別の体験までさせていただきました立田様をはじめとする新国立劇場の照明技術部の方々に深く御礼申し上げます。



バックヤードにて